



2024年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社IGポート
コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
(氏名) 石川光久
(氏名) 栗本典博
TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	5,229	7.0	598	25.5	749	46.1	547	43.0
2023年5月期第2四半期	5,622	0.6	476	8.9	513	0.3	382	9.0

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 551百万円 (40.6%) 2023年5月期第2四半期 392百万円 (20.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	115.02	
2023年5月期第2四半期	81.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	12,492	6,678	53.5
2023年5月期	12,542	6,205	48.9

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 6,678百万円 2023年5月期 6,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期		0.00		40.00	40.00
2024年5月期(予想)				52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,440	6.5	891	10.1	1,101	10.2	1,009	31.7	211.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期2Q	5,055,400 株	2023年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	2024年5月期2Q	272,852 株	2023年5月期	341,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期2Q	4,762,672 株	2023年5月期2Q	4,714,363 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、上場企業の2024年3月期の純利益の見通しは上振れている会社が多く日本企業の稼ぐ力が高まっている事や、2023年10月の訪日客はコロナウイルス流行前(2019年同月)の水準を超えインバウンド需要の回復等により、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、東欧や中東、東アジアでの地政学リスクが高まっており、また、物価高や海外景気の変調も見られ、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,229,634千円(前年同期比7.0%減)、投資事業組合運用益128,848千円を営業外収益に計上したことにより、経常利益は749,928千円(前年同期比46.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は547,782千円(前年同期比43.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーションは「怪獣8号」等、配信用アニメーションは「THE ONE PIECE」「君に届け 3RD SEASON」「ムーンライズ」「ターミネーター」等、劇場用アニメーションは「劇場版 SPY × FAMILY CODE: White」「ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」等、納品へ向けそれぞれ制作しており、テレビ用アニメーションの「SPY × FAMILY Season 2」は、納品及びテレビでの放映が始まりました。その他に、遊技機やCM等のアニメーションを制作し納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化や、CG制作費、外注費等が高騰しており、受注損失引当金を計上しております。

以上により、当事業の売上高(進捗基準)は売上原価の計上が予算より少なくなったため、2,800,303千円(前年同期比11.5%減)、営業損失は122,433千円(前年同期は53,514千円の営業利益)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リンカーネーションの花弁 18巻」「魔導具師ダリヤはうつむかない ~Dahlia Wilts No More~ 6巻」「王太子に婚約破棄されたので、もうバカのふりはやめようと思います 3巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍77点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔導具師ダリヤはうつむかない ~Dahlia Wilts No More~」「王太子に婚約破棄されたので、もうバカのふりはやめようと思います」は、特に販売好調でありました。電子書籍売上は、一般書店向け紙書籍の売上減を補い伸長しており、電子書籍の出版売上構成比は79%まで上昇しています。

以上により、当事業の売上高は株式会社リング・フランカの解散・清算が決議されたことによる減収が影響し、1,228,708千円(前年同期比14.6%減)、営業利益は290,144千円(前年同期比5.6%減)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「SPY × FAMILY」「進撃の巨人」「ハイキュー!!」「天国大魔境」「攻殻機動隊」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は1,050,888千円(前年同期比23.0%増)、減価償却費が前年同期と比べ少なくなり、また、過去に投資した減価償却済み作品の著作権収入が好調であったため、営業利益は501,067千円(前年同期比197.4%増)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は149,733千円(前年同期比8.9%減)、営業利益は2,759千円(前年同期比68.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ50,060千円減少して12,492,120千円となりました。主な要因はコンテンツ資産が404,217千円、現金及び預金が372,691千円増加し、一方、受取手形、売掛金及び契約資産が819,255千円、映像マスターが53,070千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ522,584千円減少して5,813,941千円となりました。主な要因は受注損失引当金が163,050千円増加し、一方、未払印税が259,907千円、預り金が151,365千円、前受金が101,601千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ472,524千円増加して6,678,179千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いの結果、利益剰余金は354,854千円増加し、株式給付信託(J-ESOP)制度による株式の給付により自己株式が118,686千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ372,691千円増加し、6,490,983千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1,246,252千円(前年同期は287,607千円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少額が819,333千円、税金等調整前四半期純利益が749,928千円、減価償却費が288,226千円、一方、未払印税の減少が259,907千円、未払消費税の減少が156,780千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、679,852千円(前年同期は462,580千円の減少)となりました。これは主に、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が401,534千円、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が270,584千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、196,710千円(前年同期は29,329千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額が191,945千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が4,609千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、著作権事業の収益が上振れたこと等により2023年7月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(2024年1月12日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128,409	6,501,100
受取手形、売掛金及び契約資産	3,168,791	2,349,535
商品及び製品	109,526	99,676
仕掛品	14,636	18,804
貯蔵品	9,794	8,565
前渡金	34,631	108,096
その他	407,208	392,763
貸倒引当金	△398	△1,588
流動資産合計	9,872,599	9,476,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	516,920	498,070
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	255,011	201,941
その他（純額）	166,742	169,423
有形固定資産合計	1,589,924	1,520,684
無形固定資産		
コンテンツ資産	383,675	787,893
その他	29,243	25,124
無形固定資産合計	412,919	813,017
投資その他の資産		
投資有価証券	246,429	247,714
その他	420,308	433,750
投資その他の資産合計	666,738	681,464
固定資産合計	2,669,581	3,015,166
資産合計	12,542,181	12,492,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	760,925	817,379
1年内返済予定の長期借入金	—	200,000
未払金	381,862	259,294
未払印税	729,212	469,305
未払法人税等	115,832	202,851
前受金	2,004,945	1,903,343
預り金	936,851	785,485
賞与引当金	—	1,260
役員賞与引当金	109,212	12,906
受注損失引当金	155,750	318,800
株式給付引当金	105,966	—
その他	518,347	505,187
流動負債合計	5,818,907	5,475,815
固定負債		
長期借入金	200,000	—
退職給付に係る負債	102,571	105,807
役員退職慰労引当金	86,287	91,281
その他	128,759	141,037
固定負債合計	517,618	338,126
負債合計	6,336,525	5,813,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,186,440	2,258,560
利益剰余金	3,688,922	4,043,777
自己株式	△536,032	△417,346
株主資本合計	6,120,830	6,666,491
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,604	11,687
その他の包括利益累計額合計	7,604	11,687
非支配株主持分	77,219	—
純資産合計	6,205,655	6,678,179
負債純資産合計	12,542,181	12,492,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	5,622,916	5,229,634
売上原価	4,305,593	3,990,935
売上総利益	1,317,322	1,238,699
販売費及び一般管理費	840,775	640,473
営業利益	476,546	598,225
営業外収益		
受取利息	324	206
持分法による投資利益	9,323	1,816
投資事業組合運用益	—	128,848
為替差益	16,280	698
受取賃貸料	10,761	14,775
受取手数料	11,160	16,556
補助金収入	3,403	198
その他	1,933	2,844
営業外収益合計	53,188	165,944
営業外費用		
支払利息	300	191
賃貸収入原価	14,872	10,043
投資事業組合運用損	1,295	—
その他	15	4,007
営業外費用合計	16,484	14,242
経常利益	513,250	749,928
税金等調整前四半期純利益	513,250	749,928
法人税、住民税及び事業税	121,903	202,992
法人税等調整額	8,167	△846
法人税等合計	130,070	202,145
四半期純利益	383,180	547,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	382,954	547,782

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	383,180	547,782
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9,230	4,083
その他の包括利益合計	9,230	4,083
四半期包括利益	392,410	551,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,184	551,865
非支配株主に係る四半期包括利益	225	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	513,250	749,928
減価償却費	439,674	288,226
長期前払費用償却額	19	1,503
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,350	1,190
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△88,541	163,050
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,100	1,260
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,866	△96,306
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,740	△105,966
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,189	3,235
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,994	4,994
受取利息及び受取配当金	△324	△206
補助金収入	△3,403	△198
為替差損益 (△は益)	△16,280	△698
支払利息	300	191
持分法による投資損益 (△は益)	△9,323	△1,816
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,295	△128,848
売上債権の増減額 (△は増加)	△100,022	819,333
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,286	6,910
立替金の増減額 (△は増加)	△24,624	△2,906
仕入債務の増減額 (△は減少)	87,991	55,983
未払印税の増減額 (△は減少)	△41,727	△259,907
未払金の増減額 (△は減少)	20,164	△50,541
預り金の増減額 (△は減少)	△89,372	△151,365
前受金の増減額 (△は減少)	9,163	△101,601
前渡金の増減額 (△は増加)	1,187	△67,860
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△22,800	△38,957
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△40,795	△156,780
その他	169,757	257,023
小計	748,327	1,188,869
利息及び配当金の受取額	324	206
利息の支払額	△300	△189
補助金の受取額	3,403	198
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△464,147	57,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,607	1,246,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△363,759	△270,584
無形固定資産の取得による支出	△96,086	△401,534
保険積立金の積立による支出	△1,658	△1,658
差入保証金の差入による支出	△779	△1,598
その他	△297	△4,476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,580	△679,852

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△23,985	△191,945
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,301	△4,609
自己株式の取得による支出	△42	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,329	△196,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,399	3,002
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△198,902	372,691
現金及び現金同等物の期首残高	5,295,244	6,118,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,096,341	6,490,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,412,061	—	—	2,412,061	—	2,412,061
劇場用のアニメ映像制作	471,174	—	—	471,174	—	471,174
その他のアニメ映像制作	249,836	—	—	249,836	—	249,836
コミック・書籍の出版販売	—	310,031	—	310,031	—	310,031
電子書籍の販売	—	896,479	—	896,479	—	896,479
映像コンテンツの著作権料	—	—	374,148	374,148	—	374,148
出版物に係る原作印税収入	—	—	130,937	130,937	—	130,937
その他	32,463	232,511	23,324	288,299	164,320	452,620
顧客との契約から生じる収益	3,165,535	1,439,021	528,411	5,132,968	164,320	5,297,289
その他の収益(注) 2	—	—	325,627	325,627	—	325,627
外部顧客への売上高	3,165,535	1,439,021	854,038	5,458,595	164,320	5,622,916
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,165,535	1,439,021	854,038	5,458,595	164,320	5,622,916
セグメント利益	53,514	307,269	168,475	529,259	8,796	538,056

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	529,259
「その他」の区分の利益	8,796
全社費用(注)	△61,509
四半期連結損益計算書の営業利益	476,546

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,117,376	—	—	2,117,376	—	2,117,376
劇場用のアニメ映像制作	442,511	—	—	442,511	—	442,511
その他のアニメ映像制作	228,538	—	—	228,538	—	228,538
コミック・書籍の出版販売	—	254,432	—	254,432	—	254,432
電子書籍の販売	—	969,002	—	969,002	—	969,002
映像コンテンツの著作権料	—	—	396,835	396,835	—	396,835
出版物に係る原作印税収入	—	—	155,055	155,055	—	155,055
その他	11,877	5,273	28,237	45,387	149,733	195,121
顧客との契約から生じる収益	2,800,303	1,228,708	580,127	4,609,139	149,733	4,758,873
その他の収益 (注) 2	—	—	470,760	470,760	—	470,760
外部顧客への売上高	2,800,303	1,228,708	1,050,888	5,079,900	149,733	5,229,634
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,800,303	1,228,708	1,050,888	5,079,900	149,733	5,229,634
セグメント利益又は損失 (△)	△122,433	290,144	501,067	668,778	2,759	671,538

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。
2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	668,778
「その他」の区分の利益	2,759
全社費用(注)	△73,312
四半期連結損益計算書の営業利益	598,225

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な契約の締結)

当社は、2023年12月1日の取締役会において、株式会社ブシロードワークスと、漫画家移籍に関する合意書の締結を決議いたしました。これにより、特別利益が発生することになりました。

1. 契約の内容

当社グループは、今般、出版事業において出版契約(以下、原契約)を締結する漫画家ヤマザキコレ氏が、株式会社ブシロードワークス(所在地:東京都中野区中央1丁目38-1 住友中野坂上ビル、代表者:新福恭平、事業内容:出版事業)へ移籍することについて合意書を締結し、原契約の清算に伴う補填金を当該移籍先より受け取ることとなりました。

その結果、2024年5月期第3四半期連結会計期間において、原契約の清算に伴う補填金200百万円を特別利益として計上する見込みとなりました。なお、在庫等の処分費用につきましては、精査中となっております。

2. 今後の見通し

2024年5月期通期連結業績予想につきましては、本日(2024年1月12日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2023年7月14日公表の中期経営計画におきましては、同日付の当社Webサイト、「決算・IR情報」、「説明会資料」、「2023年5月期 決算説明資料」20ページ及び34ページに記載の通り、ヤマザキコレ氏の代表作であるコミック「魔法使いの嫁」は、休載を前提に出版事業計画を策定しております。このため本移籍にともなう出版事業の影響は軽微であります。